

時と 父の アート 展

カラフル
オリジナル
アート

2023

10月7日 土 ~
10月29日 日

別館開館時間 9:00~16:30 (最終日は16:00まで)
休 館 日 10/10 (火)、10/16 (月)、10/23 (月)
場 所 国登録有形文化財 旧林家住宅
一宮市尾西歴史民俗資料館 (別館)
一宮市起字下町211番地

入場無料

企画 美術家 大塚将司
ハートフィールドギャラリー 園部知江子

参加作家

大塚 将司	原 歩
公 花	水谷 一子
鈴木 瑞祥	森川 美紀

主催・問い合わせ

美濃路×木曽川

ミュージアム

一宮市尾西歴史民俗資料館

TEL 0586-62-9711



website



水谷 一子 (Mizutani Hajimeko)

「存」 brass wire, uv resin
950mm×800mm×900mm

既存、温存、共存などなど。
そこにあることを楽しんでもらえたらと思います。





公花 (KIMIKA)

「El quejío las puntadas 縫い目の叫び」

布：西サハラ民族衣装「メルファ」
サイズ 159cm×148cm

西サハラ女性社会に自身の秘めた世界をメルファで創作中、西サハラで再び戦争が起きました。戦闘服の迷彩柄のように紛らされ、私達に報道されない不条理が世界中にあります。作品には色々な生植物などが隠れています。

愛知県立芸術大学日本画科卒業。
アフリカ最後の植民地、西サハラ難民キャンプを足掛かりに、メルファと呼ばれる西サハラ女性の民族衣装を使い、様々な作品を発表中。

2023 Expositión Amazonia, NYにて展覧会、他。
～2022 スペイン、ワルシャワ、日本等、各国にて個展など開催。
2011 アートフェスティバルARTifariti 参加。
～2016 アルジェリア西サハラで難民キャンプにて滞在制作。



大塚 将司 (Ootsuka Masashi)

「時間 将司」

ガラス製 プリル蓋 トレーシングペーパー 鉛筆
サイズ 可変
時間に取り残された物が語りかける。そこには多くの人が関わり、生きた魂が宿る。

美術家

2022 木曾川アートトライアングル
企画・出品／旧林家住宅・ツインアーチ138
・ウッドデザインパークいちのみや・紡-
2022 いちのみやアートアニュアル／一宮市博物館
2023 Cross the river展／ギャラリー Manantial(岐阜市)



原 歩 (Hara Ayumi)

「GIRLS' WAR」

ハロー ハロ？ 明日のぼくよ
おーーい、 おいおい、 おーいおい】(部分)
ブロンズの為の習作
240mm×170mm×170mm

『GIRLS' WAR』をテーマに金属鍛造作品を制作しています。
臭い蓋を開けるような、水を差すような、そんな作品であるといい。
本展示では、共同制作(w/公花)作品にも取り組みます。

愛知教育大学総合科学課程総合造形コース金工教室卒業
同大学大学院教育研究科芸術教育専攻美術分野立体造形コース修了
2015年よりギャラリーRIEN(幸田町/愛知)企画運営

2014～ 主にグループ展にて作品発表
2022 ギャラリーLaura(日進市/愛知)にて個展

時とアート の交差展

オワリカラ
ハジマル

美濃路×木曾川
ミュージアム
一宮市尾西歴史民俗資料館

〒494-0006

愛知県一宮市起字下町 211 番地

TEL 0586-62-9711

アクセス

JR 東海道本線

「尾張一宮」または名鉄名古屋本線「名鉄一宮」下車、一宮駅西口バスターミナル 2 番のりばから名鉄バス「起（おこし）」行きで約 20 分「起」下車徒歩 5 分



森川 美紀 (Morikawa Miki)

「幽霊船」

紙、墨、宝螺、顔料
199cm×268cm

美しく儚い旅の記憶は幽霊船のようにふいに現れ、捕まえたと思った瞬間指の間からすり抜けて行く。いつまで経っても捉えることができない。

1991 愛知県立芸術大学美術研究科研修生
2003 VOCA展—新しい平面の作家たち
／上野の森美術館(東京)
第3回夢広場はるひ絵画ビエンナーレ 大賞受賞
／清須市はるひ美術館(愛知)

2013 個展／秋山画廊(東京)
2014 クインテット—五つ星の作家たち
／SONPO美術館(東京)
2016 個展／織部亭(愛知)
2023 個展／ガレリアフィナルテ(愛知)



鈴木 瑞祥 (Suzuki Zuisho)

「メッセーじん君」

石壁粘土・アクリルガッシュ・ニス等
90mm×70mm×60mm

2003年5月1日より毎夜寝る前に描いているクロッキー「目を閉じてみえるもの」から生まれし作品を2011年より発表しています。現在、74冊目。

1953年生まれ
1980 愛知県立芸術大学大学院修了
1981 第1回個展／BOXギャラリー(名古屋)
2015 鈴木瑞祥展(第8回個展)
／極小美術館(岐阜県池田町)
2022 第11回個展／ギャラリーいまいじん(岐阜)
2002 5works 5つの個展(第1回～第9回)
～2023 /名古屋市政資料館



水谷 一子 (Mizutani Hajimeko)

「cat」

brass wire,uv resin
200mm×300mm×500mm

ワイヤーアート作家
名古屋造形芸術短期大学インターメディアコース専攻科修了
2022 個 bloom／懷韻
2022 美術の森に生きるどうぶつたち／メナード美術館
2022 木曾川アートトライアングル 交錯するアート展
／一宮市尾西歴史民俗資料館別館 旧林家住宅
2022 絵本原画ニヤ展 ワイヤーキャット「ベル」
お出かけ展示／三岸節子記念美術館
2022 レゾナンス～ワイヤーアート&日本画～水谷一子
・野澤朋恵／メニコNANEEX ギャラリー Menio
2023 賛 vol.6／懷韻
2023 賛 vol.7／月の庭



【同時開催】

Live Painting Gallery 2023

造形作家北村尚子によるライブペインティング作品の展示です。

10月7日(土)～29日(日)

9:00～17:00(入館は16:30まで 最終日は16:00まで)

会場 一宮市尾西歴史民俗資料館 本館ギャラリー

北村 尚子 (Kitamura Naoko)

「兎に描く」 キャンバス地にアクリル オイルクレヨン
1.1m×5m

モチーフは今年の干支のうさぎです。

フェミニストのグロリア・スタイネムが取材のために潜入した
「プレイボーイクラブ」から女性の尊厳の為に戦った先人たちにリスペクト
を込めてパニーガールたちを明るい色調で描きました。

名古屋市在住 造形作家
1983-1985 名古屋造形芸術短期大学 ビジュアルデザインコース
2001-2004 BA, Fine Art, Central Saint Martin College of Art and Design (U.K.)
《個展》
1994年よりハートフィールドギャラリー(名古屋)を拠点に個展
2016 「アリスのお茶会」(ドゥギャラリー/瀬戸市)
2017 「フロムワンダーランド」(ギャラリードゥセーヌ/名古屋市)
2018 「サンキュー」(懷韻/名古屋市)
《グループ展》
2022 美濃路みちおこしプロジェクト 木曽川アートトライアングル(一宮市)
(ライブペインティング)
2015～2019, 21, 22, 23 新春ライブ (ハートフィールドギャラリー/名古屋市)
2015～2019 ながくてアートフェスティバル (長久手市文化の家/長久手市)

「時とアートの交差展」オワリカラハジマル

旧林家住宅は、起宿脇本陣跡地に江戸時代の伝統的な町屋建築の様式を取り入れて大正二年に再建された建物です。

旧林氏庭園は枯池を配置した廻遊式の日本庭園です。

建物と庭園、それを守り続けた多くの人々、そして、時の流れが交差して生み出されるアート空間。

「時とアートの交差展」オワリカラハジマルは過去・現在・そして未来へとこの空間を継承していく生きたアートの証です。

水谷 一子 (Mizutani Hajimeko)

「存」 brass wire, uv resin
950mm×800mm×900mm

既存、温存、共存などなど。
そこにあることを楽しんでもらえたらと思います。



撮影：
山口 幸一